

本人支援

児童発達支援事業

健康・生活

① 健康状態の維持・改善

健康な生活をするために、知っておきたいことや伝えたいことを知り、自分ができることを進んでしようとする力を育みます。



健康観察・自己観察チェック、排泄や水分補給の習慣形成、食習慣の意識形成 など

② 生活のリズムや生活習慣の形成

場所や周りの人などの環境に合わせて気持ちよく過ごすために、規則正しい生活リズムや生活習慣を形成する土台を育みます。



持ち物整理、提出物の確認・提出、活動予定（見通し）の確認 など

③ 基本的な生活スキルの獲得

基本的な生活が安心してできるように、ソーシャルスキルトレーニングを中心とした活動を行い、生活スキルの獲得を目指します。

毎日をふり返ることで、感情を調整する方法を身に付けたり、心の安定を保って楽しく生活しようとしたりする気持ちを育みます。



自己評価の習慣形成、感情の安定に向けたルーティーン形成、場面設定による行動療法、絵カード支援、就学に向けた自立活動支援 など

運動・感覚

① 姿勢と運動・動作の向上

姿勢を保持する力を高め、スムーズな動きができるような体の使い方について、遊びや活動を通じて楽しみながら高めます。



音楽・リズム遊び、バランスボール、バランスボード、マット運動、サーキット（ケンケンパ等） など

② 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用

運動するときや作業するとき、より効果を高めるために道具や環境を整えて取り組むと良いことを感じ、試そうとする力を育みます。



モルック、転がしドッチ、縄跳び、線おに、道具を活かそう など

③ 保有する感覚の総合的な活用

感覚運動機能からのアプローチを中心に、バランス感覚や力加減等を調整しようとする力を育み、心の安定や安心感を育みます。

日常生活では経験しにくい感覚について、活動や遊びを通して体験できる機会を提供し、感覚過敏・鈍麻の程度の安定を促します。



センサリープレイ、感覚運動遊び、触覚遊び、トランポリン、ボール運び
バランスボード、バランスボール、背中伝言ゲーム など

認知・行動

① 認知の発達と行動の習得

活動や遊びを通して、きまりや約束があることを体験し、自分が守るべきことについて考えて行動しようとする心を育みます。

集団の中で安心して過ごすために、周りの人の気持ちを考えて行動しようとする気持ちを育み、それが自己効力感や達成感につながることを学びます。



絵本の読み聞かせ、ロールプレイ、宝探し、カード・ボードゲーム、
口頭指示運動、小集団・集団活動 など

② 空間・時間、数等の概念形成の習得

生活に必要な時間感覚、空間認識、数、量感などの概念について、体験活動を通して育みます。



コグニショントレーニング、時間感覚形成活動、ナインメモリー、
文字合わせ、遠近ボール取り、数や量概念を用いた遊び など

③ 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得

遊びや活動を通して、自己の認知の偏りがあることを自覚し、これから外部環境に左右されないで行動しようとする適応力を育みます。

イベントや行事を定期的に行い、場所や状況に合わせて進んで行動しようとする力、その環境に適応しようとする気持ちを育みます。



各種イベント参加、イベントに向けた準備、小集団・集団活動 など

言語・コミュニケーション

① 言語の形成と活用

個別、小集団活動を中心に、視覚・聴覚、運動感覚(体験)からのインプットによる言語の習得と発声を促します。



絵カード・写真を用いた活動、動画や画像を用いた支援、
音楽や合図を使った活動 など

② 言語の受容及び表出

遊びや活動の中で周りの話を聞こうとする姿勢や発信しようとする気持ちを育み
言語力の向上を目指します。



伝言ゲーム、チーム対抗の活動、動物マネ遊び など

③ コミュニケーションの基礎的能力の向上

場面や環境、周りの人に合わせて、自分の気持ちを上手く伝えるために必要なコミ
ュニケーション能力の基礎を育みます。



場面設定によるSST、ことば遊び、作文ゲーム など

④ コミュニケーション手段の選択と活用

自分の気持ちが伝わるようにするため、身振り手振り、絵カード等の手段を活用す
る方法を見つけ、コミュニケーション力を育みます。



ジェスチャーゲーム、絵カード・画像等の活かし方、
指差し・手話等を活かした遊び など

人間関係・社会性

① 他者との関わり(人間関係)の形成

遊びや活動を通して、周りの人と気持ちよく過ごすための関わり方について必要
な感覚を育みます。

社会に求められる約束やきまりがあることを知り、集団活動を通して体験的に感
じ、社会性を育みます。



ごっこ遊び、模倣遊び、場面設定による体験活動 など

② 自己の理解と行動の調整

個別活動や小集団活動でのSSTを中心に、自己の特性を理解し、感情や行動を調
整する力や、発散・リラックスする方法を学びます。



感覚遊び、触覚遊び、個別・小集団による SST、創作活動 など

③ 仲間づくりと集団への参加

集団活動や遊び、園外体験活動を通して、友達と一緒にする楽しさや協力する良
さを実感し、進んで参加しようとする気持ちを育みます。



イベント参加、小集団・集団活動 など

放課後等デイサービス事業

健康・生活

① 健康状態の維持・改善

健康を維持、改善するために、日常生活や学校生活の中で気を付ける必要があることを理解し、行動できる意識を育みます。



自己健康観察、体調管理に向けたSST、食生活への興味関心の形成 など

② 生活のリズムや生活習慣の形成

行事や環境に合わせて気持ちよく過ごすために、生活リズムを改善したり生活習慣を形成したりするなど適応する力を育みます。



持ち物整理や管理、提出物チェックの習慣形成、見通しの確認や計画 など

③ 基本的な生活スキルの獲得

基本的な生活が安心してできるように、ソーシャルスキルトレーニングを中心とした活動を行い、よりよい生活を送ろうとする生活力を育みます。

自分のことをふり返し、感情を調整する方法を身に付けたり、心の安定を保って楽しく生活しようとしたりする気持ちを育みます。



自己評価の習慣形成、安心感のあるルーティーン形成、行動療法、絵カード支援、ライフスキルトレーニング など

運動・感覚

① 姿勢と運動・動作の向上

姿勢を保持する力を高め、スムーズな動きができるような体の使い方について、遊びや活動を通じて楽しみながら高めます。



サーキット、バランスボール、バランスボード、マット運動、段ボール転がし、フットキャップコネクト など

② 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用

運動するときには能力を向上するため、作業するときには効果的に進めるために、道具や環境を整えて取り組む良さが分かり、見出す力を育みます。

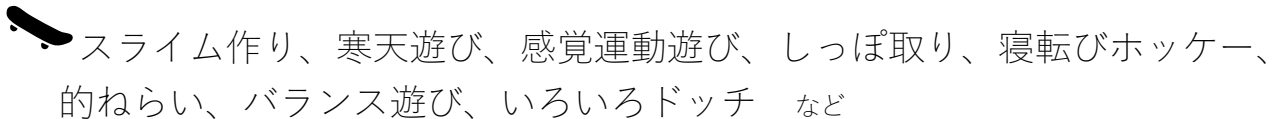


上肢の基本トレーニング、玉入れ、ボールつかみ、道具を活かそう など

③ 保有する感覚の総合的な活用

感覚運動機能からのアプローチを中心に、バランス感覚や力加減等を調整しようとする力を育み、心の安定や安心感を育みます。

日常生活では経験しにくい感覚について、活動や遊びを通して体験できる機会を提供し、感覚過敏・鈍麻の程度の安定を促します。

- 

認知・行動

① 認知の発達と行動の習得

活動や遊びを通して、きまりや約束を理解して守ることや、説明がなくても守るべきことを察知して行動しようとする心を育みます。

集団や社会で安心して生活するために、周りの人のことを考えて行動することが大切であり、それが自己効力感や達成感につながることを学びます。



いいところ見つけ、カードゲーム、ボードゲーム、
目標シート（名人になろう）小集団・集団活動 など

② 空間・時間、数等の概念形成の習得

生活に必要な時間感覚、空間認識、数や単位、量感などの概念について、体験活動を通して育みます。



コグニショントレーニング、時間感覚形成活動、ビジョントレーニング、
お買い物、タオル DE キャッチ、数や量概念を用いた活動 など

③ 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得

自己の認知の偏りを自覚しながら、外部環境に影響を与えないで行動できるように、自己認識力を高め適応力を育みます。

イベントや行事を定期的開催し、場所や状況に応じて主体的に行動しようとする力、その環境に適応できる力を育みます。



各種イベント参加、イベントに向けた準備、小集団・集団活動 など

言語・コミュニケーション

① 言語の形成と活用

個別、小集団活動を中心に、視覚・聴覚、運動感覚(体験)からのインプットと言葉の意味を結び付けることで言語の習得と発声を促します。



絵カード・写真を用いた活動、動画や画像を用いた支援、
読み能力向上の支援 など

② 言語の受容及び表出

遊びや活動の中で対話する機会を通じて、相手の言葉を理解し、自分の考えを発信することができるように情報変換する力を育みます。



伝言ゲーム、チーム対抗の活動、小集団での役割づくり、音で遊ぼう など

③ コミュニケーションの基礎的能力の向上

場面や環境、関わる相手に合わせて、双方向からやり取りするために必要なコミュニケーション能力の基礎を育みます。



場面設定による SST、話ことばづくり、カードゲーム、ボードゲーム など

④ コミュニケーション手段の選択と活用

話し相手や状況に応じて、身振り手振り、絵カード、視聴覚機器等の有効な手段を活用し、円滑にコミュニケーションを進める方法を学びます。



ジェスチャーゲーム、絵カード・画像等の活かし方、応援を考えよう など

人間関係・社会性

① 他者との関わり(人間関係)の形成

遊びや活動を通して、周りの人と適度な距離感を保ち、お互いに気持ちよく過ごすために必要な感覚を育みます。

社会に求められる約束やきまりを守ることが必要だということを、集団活動を通して体験的に理解し、人間関係を構築する礎を育みます。



愛着形成につながる活動の促進、体験活動、ルールづくり など

② 自己の理解と行動の調整

個別活動や小集団活動での SST を中心に、自己の特性を理解し、感情や行動を調整する力や、発散・リラックスする方法を学びます。



感覚遊び、触覚遊び、創作活動、いいところ見つけ、リラックス体操 など

③ 仲間づくりと集団への参加

集団活動や遊び、園外体験活動を通して、友達と一緒にする楽しさや協力する良さを実感し、主体的に参加しようとする気持ちを育みます。



イベント参加、一緒に挑戦、小集団・集団活動 など

家族支援

- 支援内容の報告にとどまらず、必要に応じて個別またはグループによる相談援助を行うことで、より良い連携を行います。
- 保護者による学習会やペアレントトレーニングの機会を提供し、各家庭が主体的に参加できるようにサポートします。
- 兄弟がいる家庭については、兄弟に関する相談も含めて家族支援と位置付けた相談援助を行います。

移行支援

- 小学校進学を見通し、学校生活が始まってからすぐに困り感を感じないように、学校、園等の各関係機関との連携を積極的に行います。(児発)
- 児童の特性や思いを尊重し、家族の意向を踏まえ家庭環境にも配慮した移行支援に努めます。(児発)
- 中学校、高等学校、大学、就職等、各段階に応じて、短期的な支援ではなく、次の進学を見通した長期的な支援ができるように各関係機関との連携を積極的に行います。(放デイ)
- 児童本人の意見や考えを尊重しながら、家族の意向を踏まえた上で将来を見通した移行支援に努めます。(放デイ)
- 地域の実情に合わせ、必要な団体や地域住民、関係者等と連携しながら地域とのつながりの役割を担います。(共通)

地域支援・地域連携

- 施設の利用が終了した後でも、継続した地域支援が受けられるように、地域の関係諸機関との連携を密にし、地域の公共的施設という位置づけで事業を推進します。
- 利用者の生涯教育という一体的な支援体制を構築し、行政、園、学校、家庭と連携した支援を展開します。
- 地域の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所の中核的な役割を担い、地域連携に貢献します。

職員の質の向上

- 専門的な知識が高く、児童理解に長けた人材を適切に配置し、その能力を十分に発揮することができるよう配慮します。
- 事業所内研修を定期的に行い、職員の知識・技術力の向上に努め、自己研鑽の機会を提供します。(職員技能向上研修)
- 外部における研修を積極的に周知し、主体的にスキルアップを求める場合は支援します。(資格取得支援)
- 定期的に面談を行い、課題解決する場や自己評価する機会を設け、業務意欲につなげます。

主な行事等

【祝日イベント】

4月～3月のGWを除く祝日

遠足(動物園、芋ほり、田植え、稲刈り、ハイキング 等)

施設内イベント(水遊び、餅つき、ものづくり体験 等)

【夏祭り】

8月中旬(お盆前後の3～5日間)：施設内において手作り屋台で実施

【クリスマス会】

12月下旬(2～4日間)：施設内においてお楽しみ会

*これらの他に、日常活動において、節分(豆まき)、ひな祭り(ひな人形づくり)、七夕(短冊書き)、ハロウィンパーティー、など